

質 問 順 位	6	質 問 者	山 本 正 信 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 農業行政	1. 本年度の異常高温による農業被害と今後の対策について	1. 本年は6月上旬を最後に8月上旬まで全く降雨がなく、平年比4～5度以上高温の日が続きました。その結果、本市の畑作に甚大な影響があり、特に畑作物の主力である秋まき小麦は細麦でかなりの減収となり、その他大豆、雑穀などについてもかなり影響が出ています。異常高温による、個々の農家への影響額について調査をしていると思いますが、どの程度把握し、今後の対策についてどのように考えているか伺います。 また、農業災害については従前の農業共済制度と新たに創設された収入保険制度という2つの公的な補償制度があります。これらの制度は数年前より任意加入となり、市内農家でも無保険状態の農家が12%程度いると聞いています。年末に向け資金需要が出てくると思いますが、それらの対策について伺います。		
	2. 新型コロナウイルス感染症による農産物価格の低迷対策について	1. 本市の主力作物である水稻は全国的な作付超過と相まって、コロナ禍の影響により業務用米の低価格が予想され、農協等の価格も10%以上の下落が予想されていることから、本市の稲作農家もかなり収入減となる見込みです。 先程の質問にありました公的補償制度により、価格下落については収入保険が対象となりますが、本市の加入率は22%（50戸程度）と聞いており、かなりの影響があると思いますが、その実態調査の実施と対策について伺います。		
2. 新型コロナウイルス感染症対策	1. 12歳未満への感染予防対策等について	1. 現在全国民へのワクチン接種が進んでいます。12歳未満は接種対象となっていませんが、小学生を通じた感染拡大が全国的にも増大していると報道されています。滝川市としての12歳未満についての感染予防対策について伺います。 併せて、無症状の感染者の早期発見こそがまん延防止につながると思いますが、国に対してワクチン接種ができない12歳未満に対しての抗原検査またはPCR検査の実施をお願いできないか市長の見解を伺います。		